

SORA Technology株式会社



- 所在地：愛知県名古屋市
- 従業員：13名
- 会社設立年：2020年
- 事業内容：ドローンとAI（人工知能）の開発・運用を通じた、感染症予測などの国際保健分野への事業展開

<https://sora-technology.com/>

プロジェクト名

- カンボジアの蚊媒介感染症に対する、ドローンとAIによるボウフラ繁殖水域デジタル監視システム構築実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：カンボジア・パスツール研究所(Institut Pasteur du Cambodge)
- 協力・連携の内容：蚊のボウフラデータにかかる学術的・人材開発支援、及び関係省庁との連携方針協議を通じた、本提案事業の保健省向けシステム導入支援



現地の経済・社会課題

- 蚊が媒介する感染症の被害が深刻で、うちデング熱は2022年に1万2千人以上の感染者が報告。
- 流行予測システムや、ボウフラ駆除剤散布などの根本治療が期待されるも、そのために必要なデジタル化が進まず。

実証内容

- ドローン及びAI（人工知能）を活用したボウフラ発生水域の監視システムの開発及びその運用プラットフォームの導入を目指す
- 蚊ごとに異なる繁殖水域を、複数のAI解析技術の開発・改善を通じて検出可能に。
- アフリカ複数カ国にて、マラリアを媒介するハマダラカ対策として実証・運用済の技術の、デング熱を媒介するシマカへの応用可能性の検証及び技術改良の実施。

期待される裨益効果

- 蚊媒介感染症の減少への貢献は勿論、狂犬病などのその他感染症のDX促進のきっかけに。またドローンやAIに関するカンボジアでの人材育成を促し、デジタル技術の新規産業育成にも貢献。
- ボウフラ検出にかかる人件費の大幅な削減、及び駆除剤散布に対する費用対効果の改善と環境負荷の低減にも貢献。